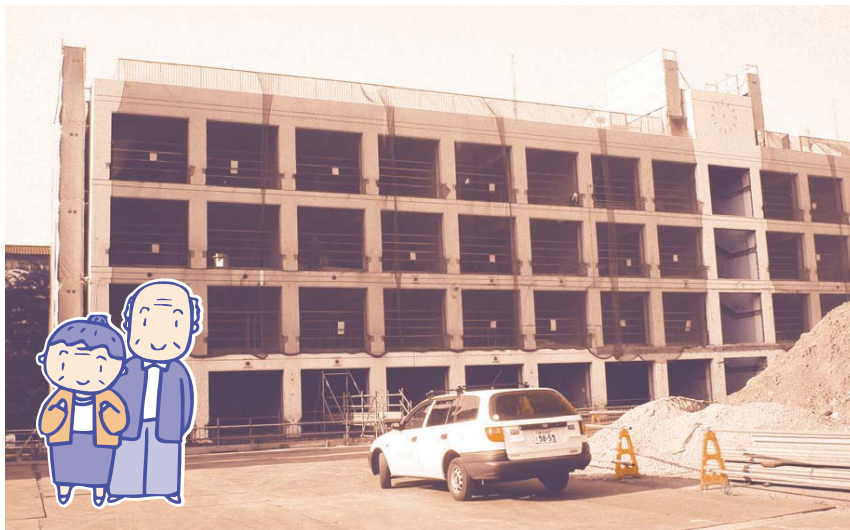


ご意見・ご要望を  
お寄せください

# 日本共産党 区議会報告

発行：日本共産党品川区議団  
2010年8月号 発行責任者：宮崎 克俊  
TEL.5742-6818 (直通) FAX.3778-3088  
ホームページ [共産党 品川](#) 検索

# 特養ホーム 区が「小規模施設も検討」 共産党の論戦と 区に実現せまる 住民運動が



写真はリフォーム工事がすすむ八潮南中学校跡。来年5月には特養ホーム(定員81人)が開設。ショートステイ(定員19人)、認知症高齢者グループホーム(定員18人)も併設されます。

入所待ち550人：特養ホームの増設は緊急課題です。6月の区議会本会議で品川区は「まとまった用地確保が困難な中で小規模特養ホーム

特養ホーム増設を求める区民運動の広がり共産党の論戦で、11年ぶり八潮に特養ホームが実現。あわせて長期計画(09年度～18年度)にも特養ホーム増設の方針が盛り込まれました。しかし、八潮に続く特養

ホームについて品川区は「運営しやすい大規模にしたいから土地は3千㎡が理想」「目を皿のようにして探している」とのべていました。共産党は「区内に広い土地確保が難しいなかで、大規模施設にこだわらず小規

ムなど検討する余地がある」と発言。八潮(来年5月開設・定員81人)に続く特養ホーム増設に展望ができませんでした。

模でも必要数を早くつくるべき」と早期の計画具体化を求めていたものです。住民運動と共産党の論戦が小規模特養ホームの可能性を開きました。

自民・公明・民主は6月議会の厚生委員会で、特養ホーム増設を求めた請願に「土地がない中で、区の方針を見守るしかない」などと反対。大規模施設にこだ

「緊急課題」というなら、入所待ちをなくすため、大規模・小規模などあらゆる可能性を追求して特養ホーム増設計画を早急につくること。老人保健施設、認知症グループホームも増設するべきです。

## 「緊急課題」というなら早急に計画を

わる区を擁護していました。

濱野区長は、3月の予算

議会で「高齢者の生活支援は緊急課題、スピードを持って取り組む」とのべまし

た。

## 区長選で、くらし・営業第一の区政実現を目指します

2010年8月 日本共産党品川区議団

濱野区長の任期が10月で満了。10月3日投票の区長選に日本共産党は「あたたかい品川区政をつくるみんなの会」(酒井広会長)と力をあわせ、くらし・営業を支援する区政実現を目指します。

濱野区長の1期目4年間の特徴の第一は、高橋前区長の路線を踏襲して、くらしと営業の応援をそっちのけで区財政の積み増しを優先してきたことです。基金は500億円まで膨れ上がりましたが、正規職員は低賃金の非正規雇用に置き換え、区民には国保料を毎年値上げ、特養ホームは増設せず整備率が23区最低、入所待ち者が550人に増えました。保育園は今年4月494人も入れませんでした。

第二の特徴は、大崎駅周辺など巨大ビル建設の推進です。品川区はこれまで大規模再開発に1000億円超の税金を使い、今年度も大崎、五反田、大井町など60億円と破格です。ところが、再開発で80億円を補助した大崎の高級マンションが販売不振。計画中の開発も破たん危機にあるのに、濱野区長は計画を見直すどころか「国際都市」を看板に区内全域に開発を広げようとしています。

第三の特徴は、強引な「教育改革」です。選択制が学校と地域の関係を壊し、大規模になった小中一貫校では全校生徒が集まる運動会で校庭が狭すぎるなど問題が噴出。ところが教育委員会は小中学校18校を6校の小中一貫校に統廃合したうえで荏原西、荏原東、大井の各地区で小中学校を統廃合しようとしています。これを教育委員会に迫ったのが濱野区長です。

日本共産党は、品川区が福祉推進の自治体の役割を發揮して、特養ホームや認可保育園、区営住宅の増設、ものづくり・営業支援に取り組むよう全力を尽くします。教育改革は住民参加による検証と見直し、少人数学級を実現します。

- 共産党が町工場訪問
- 税金投入増やし
- 開発コリ押し
- P4 ● 保育園待機児解消を
- 高齢者医療の軽減を

目次